

## 東日本大震災に係る宮城県角田市への応援給水活動復命

上下水道課

平成23年3月12日(土)に滋賀県水道協会滋賀県支部(大津市)より応援給水の依頼があり、当日15時に第1班職員2名(上下水道課:久徳、小寺)給水タンク車で出発。途中、守山市と近江八幡市と合流し宮城県へ向う。

3月13日(日)13時30分に角田市へ到着。

状況説明:11,000世帯中8,000世帯が断水している等の説明がある。

小田取水池より給水して横倉小学校で給水活動を行い、18時に終了。

3月14日(月)7時より前日と同じく小学校で給水活動を行い、18時に終了。

3月15日(火)7時より給水活動を開始して、18時に終了。

2班職員(土木交通課:奥村、都市計画課:津田)が守山市職員と角田市より支援要請のあった水道水の消毒剤である次亜塩素酸トリムを積み込み、9時に出発し角田市へ23時30分到着。その後、地図にて引き継ぎを行う。

3月16日(水)職員が交代し、7時より小田取水池より給水し、横倉小学校で給水活動を行い、18時20分に終了。

3月17日(木)7時より枝野浄水場から給水して横倉小学校で給水活動を行い、18時に終了。

3月18日(金)7時より枝野浄水場から給水して横倉小学校で給水活動を行い、18時に終了。

明日からについては、日本水道協会中部支部の要請で静岡市が交代するため、静岡市職員の到着を待ち引き継ぎを行う。

このことにより、3班以降の応援給水がなくなった。

3月19日(土)角田市より栗東に向かい出発。

### 【給水活動を終えて】

今回の地震は、過去に類を見ない大規模な、そして、広範囲に渡る被害をもたらしました。

内陸部においては、家屋の倒壊や水道、ガス、電気等のライフラインも寸断、道路の亀裂や陥没、法面の崩壊などがあり、道路のところどころで、水が吹き出しているところもあり、街の機能を失っていました。沿岸部においては、津波による被害が甚大で、街の形すら残らない、目を疑いたくなるような光景が広がっていました。

我々が給水活動に出向いた宮城県角田市は、沿岸部からは山一つ挟んだ地域で、家屋の倒壊等の被害も少なく、津波による被害も及んでいなかったが、水道、電気、ガス等のライフラインは寸断され、街の機能を失っていました。

我々は、その中でも、住民のライフラインの一つである、水の供給の救援のため、角田市にある横倉小学校で、給水タンク車(3t)を使いながら、浄水場と横倉小学校の給水ポイントを一日に5回から6回往復(おおよそ20t/日)の配給を行いました。

我々が行った救援活動の期間は、わずかではありましたが、この間に多くのことを学びました。地震などの自然災害は、防ぐことが出来ないけれど、起こったときに、住民そして我々はどのような動きをすれば良いのか。一瞬の判断のミスで、命を分けることになる。特に、今回のような、地震災害は、予測を立てることは難しい。普段からのそういった備えは必要ではあるけれど、地域のつながりの必要性というものが、如何に必要であるかということを感じ知らされました。避難するときもそうですが、非難した後も、自分に何が出来るのか、自分は、何をすれば良いのかを一人ひとりが考えて行動することの重要性を感じさせられました。また、震災後から、街の機能を取り戻すまで、相当の時間がかかります。街は、混乱しているなか、みんながばらばらに動いてしまうと更に混乱を招き、収集が付かなくなります。住民は、避難するために自家用車を使いたくなる場所ですが、一般車両の通行を如何に食い止め、緊急車両を優先的に走らせることの重要性。そして、早く、広域避難所へ避難していただき、人命の安全と二次災害を防ぐこと。そして、我々のような応援部隊の受け入れ態勢と采配が出来る体制の整備、情報の収集が、如何に災害復旧を迅速に進めることが出来るのだと感じました。

また、横倉小学校での給水活動で感じたことは、3月と言えど、こちらは、まだまだ寒さ厳しい季節で、そんな中、お年寄りや小学生の子どもたちが、ペットボトルや20リットルのポリタンクなどを抱えながら、水を汲みにこられていました。一日に何回も何回も、家族や隣近所のお年寄りのために、汲みに来られ、我々の生活する上では、水の重要性と言うものを再認識させられました。また、東北の地域の方々の方々のつながりや、助け合いの精神、隣近所を大切にしている心が、子どもたちにも受け継がれていることに、感心いたしました。

今回の東日本大震災は、余りにも被害が甚大であります。この大震災で、多くの方が命を落とされることとなりました。ここに、命を落とされた方々にご冥福をお祈り申し上げます。また、被害に遭われた方々のこれからの復興と少しでも力になれることを少なからず、今後も応援していきたいと思っております。